

特別栽培農産物栽培管理計画書

確認機関名	塩谷アグリテック
計画提出日	27年1月31日
登録番号	001～062

生産者	杉山修一	品種名	コシヒカリ・夢ごち・夢いっぱい・新生夢ごち等
住所	栃木県塩谷郡塩谷町肘内742	ほ場	栽培計画書参照
電話	0287-46-0741	栽培面積	190171 m <sup>2</sup>
作目・作型	水稲 早期栽培	収穫期間	9月10日～11月15日

(計画)

○作業内容 コシヒカリ・夢ごち、夢いっぱい、新生夢ごち等

単位：農薬 kg/10a 又はリットル/10a、肥料 kg/10a)

作業名	年月日	資材名	施用量	成分回数・窒素施用量	備考
耕起作業	26.11				ロータリー耕
耕起作業2回目	27.1.5～ 27.2.20				ロータリー耕
レーザーレベラー	27.1.10～ 27.3.30				レーザー整地
有機質散布	27.3.上旬～ 27.4月	発酵鶏糞	70～1200 kg		ブロードキャスト
種子消毒	27.03.上旬	温水			温湯消毒
播種	27.04.上旬	粒状培土 有機栽培用粒状培土 化学肥料及び節減対象 農薬及び有機農産物の 別表の2の農薬不使用 培土 発酵鶏糞 スリヤグアノ	82.5%  1.5kg 0.6kg		10畝20枚換算  播種機使用床土下層 に床土箱詰、発酵鶏 糞散布、スリヤグア ノ散布、床土表層箱 詰め、散水、播種、 覆土
発芽	播種後5～ 7日				育苗ハウス内に積み 上げ簡易発芽を行う
育苗	発芽確認後 ～田植え終 了まで	水を保つためのシート 等 地下水			
耕起作業第3回目	27.3. 上旬 ～4月				ロータリー耕
水管理作業	27.4月 上 旬～ 落水まで				軽トラック、1.5ト ン、2トン車等を使 用
代掻き作業	27.04.上旬				代かきハロー

	から5月中旬				通常同一圃場内を荒代～植代の行程で仕上げる
田植え作業	27.04.下旬から5月19日	ルーチン粒剤 被覆尿素 尿素 マグマリン シウチ1kg粒剤	1kg 2kg 6kg 20kg 1kg	1回 0.8kg 2.46kg 2回	田植え機使用、薬剤及び肥料同時散布 植え付け坪あたり株数37～48株植え
除草剤散布	田植え後7～10日	マガゼーダジヤホ	0.4kg	2回	
土壌改良材流し込み	27.05.25	海洋深層水1ヘルツ	0.1リットル		水口から流し込み
除草剤散布	27.6～7月	ワイドアタック	0.1リットル	1回	ブームスプレーヤで散布
肥料散布	27.6.25～27.7.5	マグマリン スリヤグアノ	0.1kg 0.1kg		ブームスプレーヤで散布
肥料散布	27.7.6～27.8.5	マグマリン スリヤグアノ	0.1kg 0.1kg		ブームスプレーヤで散布
収穫、乾燥	27.09.中旬から10月上旬				自脱コンバインによる収穫及び遠赤乾燥機による乾燥
調整作業	出荷に合わせて順次調整				粗撰、粃すり、網目選、石抜き、色彩選、水分選、袋詰、特裁格付け、農産物検査以降出荷

○資材の使用内容

農薬成分回数		
成分回数	基準値	使用割合
4	16	5割減

窒素施用量 (kg/10a)		
窒素量	基準値	使用割合
3.26	8	5割減

○使用資材の成分内訳等

農薬名	成分名	
ルーチン箱粒剤	イソチアニル	3%
マガゼーダジヤホ	ピラクロニル	5.00%
	プロピリスルフロ	2.25%
ワイドアタックSC	ペノキススラム	3.6%

化学肥料の名称	窒素成分割合 (%)
尿素	41
被覆尿素	40

(実 績)

その2

圃場

○作業内容

(単位：農薬 kg/10a 又はリットル/10a、肥料 kg/10a)

コシヒカリ 夢いっぱい ミツヒカリ 2003 新生夢ごち

作 業 名	年月日	資材名	施用量	成分回数 ・ 窒素施用量	備考
耕起作業	26.11				ロータリー耕
耕起作業 2 回目	27.1.5 ~ 27.2.20				ロータリー耕
レーザーレベラー	27.1.10 ~ 27.3.30				レーザー整地
有機質散布	27.3.上旬~ 27.4 月	発酵鶏糞	70 ~ 800 kg コシヒカリ 70~150 kg 夢いっ ぱい 200 kg ミツヒカリ 2003 600 kg 新生夢ご ちち 800 kg		ブロードキャスタ
種子消毒	27.03.上旬	温水			温湯消毒
播種	27.04.上旬	粒状培土 有機栽培用粒状培土 化学肥料及び節減対象 農薬及び有機農産物の 別表の 2 の農薬不使用 培土 発酵鶏糞 スリヤグアノ	8 2 . 5 リ ットル  1.5 kg 0 . 6 kg		10 <sup>2</sup> ~ 20 枚換算  播種機使用床土下層に床土 箱詰、発酵鶏糞散布、スリ ヤグアノ散布、床土表層箱 詰め、散水、播種、覆土
発芽	播種後 5 ~ 7 日				育苗ハウス内に積み上げ簡 易発芽を行う
育苗	発芽確認後 ~田植え終 了まで	水を保つためのシート 等 地下水			
耕起作業第 3 回目	27.3. 上旬 ~ 4 月				ロータリー耕
水管理作業	27.4 月 上 旬~ 落水まで				軽トラック、1.5 トン、2 トン車等を使用
代掻き作業	27.04.上 旬 から 5 月中 旬				代かきハロー 通常同一圃場内を荒代~植 代の行程で仕上げる
田植え作業	27.04.下 旬 から 5 月 19 日	ルーチン粒剤 尿素 マグマリン シウチ 1 kg 粒剤	1 kg 6 kg 20 kg 1 kg	1 回 2.46 kg  2 回	田植え機使用、薬剤及び肥 料同時散布 植え付け坪あたり株数 3 7 ~ 4 8 株植え
除草剤散布	田植え後 7 ~ 10 日	月光ジャンボ	0.4 kg	3 回	

除草剤散布	7月20～25日	ハサゲラン液剤	0.5%	1回	
収穫、乾燥	27.09.中旬から10月上旬				自脱コンバインによる収穫及び遠赤乾燥機による乾燥
調整作業	出荷に合わせて順次調整				粗撰、籾すり、網目選、石抜き、色彩選、水分選、袋詰、特裁格付け、農産物検査以降出荷

○資材の使用内容

農薬成分回数		
成分回数	基準値	使用割合
6	16	5割減

窒素施用量 (kg/10a)		
窒素量	基準値	使用割合
2.46	8	5割減

○使用資材の成分内訳等

農薬名	成分名	
ルーチン箱粒剤	イソチアニル	3%
シナチ 1kg粒剤	ブタクロール 5.0% ペントキザゾン 1.5%	
月光ジャンボ	カフェンストール 7.5% ダイムロン 37.5% メタゾスルフロン 2.5%	
ハサゲラン液剤ペンタゾン	ナトリウム塩	40.0%

化学肥料の名称	窒素成分割合 (%)
尿素	41%

○栽培記録の確認

栽培管理記録の確認欄 (署名・印)	これまでの農薬成分回数及び化学肥料施用量 (kg/10a)		備考
	農薬成分回数	窒素	
27年9月15日小野崎勇治 	7回	2.46 kg	圃場及び書類確認済み
年 月 日 印	回		
年 月 日 印	回		

○特記事項

--

(実績)

その2

圃場

○作業内容 ゆうだい21 夢ごこち 新生夢ごこち  
ミツヒカリ2005

(単位：農薬 kg/10a 又はリットル/10a、肥料 kg/10a)

作業名	年月日	資材名	施用量	成分回数 ・ 窒素施用量	備考
耕起作業	26.11				ロータリー耕
耕起作業2回目	27.1.5～ 27.2.20				ロータリー耕
レーザーレベラー	27.1.10～ 27.3.30				レーザー整地
有機質散布	27.3.上旬～ 27.4月	発酵鶏糞	70～1200 kg		ブロードキャスト
種子消毒	27.03.上旬	温水			温湯消毒
播種	27.04.上旬	粒状培土 有機栽培用粒状培土 化学肥料及び節減対象 農薬及び有機農産物の 別表の2の農薬不使用 培土 発酵鶏糞 スリヤグアノ	82.5 リットル  1.5 kg 0.6 kg		10 <sup>2</sup> ～20枚換算  播種機使用床土下層に床土 箱詰、発酵鶏糞散布、スリ ヤグアノ散布、床土表層箱 詰め、散水、播種、覆土
発芽	播種後5～ 7日				育苗ハウス内に積み上げ簡 易発芽を行う
育苗	発芽確認後 ～田植え終 了まで	水を保つためのシート 等 地下水			
耕起作業第3回目	27.3. 上旬 ～4月				ロータリー耕軽トラック、 1.5 トン、2 トン車等を使用
水管理作業	27.4 月 上 旬～ 落水まで				
代掻き作業	27.04.上 旬 から5月中 旬				代かきハロー 通常同一圃場内を荒代～植 代の行程で仕上げる
田植え作業	27.04.下 旬 から5月 19日	ルーチン粒剤 尿素 マグマリン シウチ1kg粒剤	1 kg 6 kg 20 kg 1 kg	1回 2.46 kg  2回	田植え機使用、薬剤及び肥 料同時散布 植え付け坪あたり株数37 ～48株植え
除草剤散布	田植え後7 ～10日	月光ジャンボ	0.4 kg	3回	
除草剤散布	6月20～ 30日	バサグラン液剤	0.5 リットル	1回	
収穫、乾燥	27.09.中 旬				自脱コンバインによる収穫

	から10月上旬				及び遠赤乾燥機による乾燥
調整作業	出荷に合わせ順次調整				粗撰、籾すり、網目選、石抜き、色彩選、水分選、袋詰、特裁格付け、農産物検査以降出荷

○資材の使用内容

農薬成分回数		
成分回数	基準値	使用割合
7	16	5割減

窒素施用量 (kg/10a)		
窒素量	基準値	使用割合
2.46	8	5割減

○使用資材の成分内訳等

農薬名	成分名	
ルーチン箱粒剤	イソチアニル	3%
シウチ1kg粒剤	ブタクロール 5.0% ペントキザゾン1.5%	
月光ジャンボ	カフェンストール7.5% ダイムロン 37.5% メタゾスルフロロン2.5%	
バガラン液剤	ベンダゾントリウム塩	40.0%

化学肥料の名称	窒素成分割合 (%)
尿素	41%

○栽培記録の確認

栽培管理記録の確認欄 (署名・印)	これまでの農薬成分回数及び化学肥料施用量 (kg/10a)		備考
	農薬成分回数	窒素	
27年9月15日 小野崎勇治 	7回	2.46 kg	圃場及び書類確認済み
年 月 日 印	回		
年 月 日 印	回		

○特記事項

--